

2 学期終業式の後、生徒は短い時間で「終業式を終えて」を記入しました。

この取組は、聞いた話を要約したり自分の考えを組み入れた文章を短い時間でまとめることを通じ、思考力・表現力等の向上を目指すものです。

内容は、「1 今日の校長先生の話の要点は、どのようなことでしたか。箇条書きで書きましょう。」「2 上記の内容をもとに、自分が感じたり考えたりしたことなどを、文章で書きましょう。」の2つです。各学年から何名かの内容を紹介します。

1 年 N.S.

1・目標を実行し、ずっと続けることができるのも才能

・3学期は今年を振り返る

2・私は、目標に対して努力を続けることの難しさを今年は特に感じた。初めての定期テストをし、思ったように勉強できず、結果も満足いくような結果ではなかった。2週間前になっても実感がわかず、ギリギリになって終わらせてしまうワークもあり、部活があることを言い訳にして勉強する時間をあまりとらなかった。周りの友達は毎日コツコツ勉強し、結果が良かったと言っているのを見て、私はまだまだ中学生になった実感と努力が足りないと感じた。3学期のテストでは満足いく結果になるように、普段からしっかり勉強し、努力が続けられるようになりたいと思った。

1 年 T.N.

1・マンダラチャートで大谷選手は成功した。

・続けることが才能

・16歳～今も行う

2・校長先生の話聞いて、続けることも才能という言葉が心に残りました。才能と聞くと突発的な、わかりやすい才能ばかり想像してしまうので、それも才能と言っていいんだと驚きました。続けることは難しい分、達成感もあるので、何か続けてみたいです。

1 年 A.S.

1・大谷選手は16歳のときに目標を書き出し、13年間続けて実現させた。続けられることは才能。

・2学期は様々な場面で挑戦と活躍があった。目標を決め、考えて継続すること。

・一年が終わる前に今年の成長を振り返ること。

2・自分にも目標、夢があります。大谷選手、行事や大会、発表会で活躍した方々は、目標に対して考え、継続しているのだとわかり、成功したという人はどのように掴み取ったのかを理解することができました。また、三年生の代表の方の話の中に、努力を続けられたという経験が自信になるという内容が出てきました。目標を達成できたという成功体験は自信になりますが、「努力体験」という考え方はとても良いと思いました。

1 年 S.N.

1・今年活躍したスポーツ選手（大谷）→日本に多く貢献した

・16歳のときから（13年間）ずっと続けている（ドラ1 8球団）→すごいこと

・13年間実行し続けていたから成功した

2・「ドラ1 8球団」に「運」という文字があり、私は驚きました。しかも「運」のためやることに、ゴミ拾いや部屋掃除、道具を大切に扱う、という物を大切にすることと、あいさつや審判さんへの態度、といった周囲の人に感謝することやプラス思考、本を読む、応援される人間になる、が書いてあることにも驚きました。私は野球のことに関心や興味がなく、大谷選手のことあまり知らなかったけど、表を見たときに大谷選手

がすごい人だということが分かりました。

2年 M.T.

- 1・大谷翔平選手から、目標を実行し続けることが大切→学ぶ
 - ・どのように行動し、どのような成果だったのか振り返る。今年中。
 - ・2学期は多くのことを成し遂げた
- 2・大谷翔平選手の「自分の大きな目標達成のためにすることを明確にし、達成しても実行し続ける姿勢」を受けて、私も自分の目標を明確にして継続することを大切にしたいと感じました。特に、勉強はテストが終わっても継続的に学習を進めることで、これからの進路選択をよりよいものにできると思うので、頑張りたいです。2学期は合唱祭実行委員や定期テストなどの行事に、1年より積極的に取り組むことができました。3学期では、これまでより高い点数を取り、維持できるようにしたいです。

2年 K.F.

- 1・続けることの大切さ
 - ・行動する、自分と向き合い、考え続ける
 - ・成長の振り返り
- 2・自分も柔道部でトレーニングを日々やっていますが、毎日続けることはできません。だから、大谷選手はスポーツマンとして雲の上の存在です。その雲の上に少しでも近づけるように、日々のトレーニングや練習に取り組んでいきたいです。1年生で柔道部に入ってからすぐの頃から今までの成長は、とても大きいものだと思います。ですがこれで満足せず、県大会で勝ち進めるようになりたいです。そのためによく動き、よく食べてよく寝ます。

2年 K.N.

- 1・大谷翔平選手が続けていること
 - ・いろいろな人が全国大会に行っている
- 2・私は吹奏楽部に入っていて、全国大会に出場しています。それは、私たちが頑張っているから、でもあると思うのですが、保護者や先生の支えがあったからだと思います。大谷選手は、下のグラフの左下に人間性という項目があります。私も、技術力は大切だと思いますが、人間性があるからこそ、一生懸命頑張っている人だと思います。さいたまスーパーアリーナに行くと、必ず他の団体にあいさつします。私は、こういうところから中央中の吹奏楽部として見られていると思うので、これからも続けていきたいと思いました。

2年 Y.S.

- 1・スポーツ選手（大谷翔平選手）
 - ・合唱祭→成功→道徳発表…
 - ・クリスマス・大晦日・正月→乗り越えられたという取組
- 2・今年は活動する年と前におっしゃっていましたが、活動を続けて取り組んでいくことが成功につながる道ということや、合唱祭、新人戦などは挑戦することがとても大切だと思ったので、東班や球技大会や来年の行事・部活または進路相談に対しても、持続的に活動できるようにしていきたいと思いました。大谷選手の作ったチャートのようなものを部活版で作って実行し、最後まで頑張るのは楽しそうなので作ってみたいと思いました。そして、冬休みの過ごし方はしっかり考え、事故にあわないように気を付け、達成感を得た後また学校へと元気に登校できるようにします。

2年 S. A.

1・大谷選手の話

- ・13年経っても下にあるシートを続けている
- ・優れた部活動の話

2・私が入っている女子バドミントン部は、新人戦大会で上位3位に入ることができ、県大会に出場することができました。部活動の仲間と新人戦に向け6時まで部活に取り組み、練習してきた成果が出たから県大会に出場できたのだと思います。大谷選手も自分の努力の積み重ねと、仲間と一緒に練習できたからこそ、大きな大会で優勝でき、世界に注目される人になったのだと思います。あきらめたら今までの努力が無駄になる、今まで続けてきた練習が台無しになってしまうので、私も今続けていることをあきらめないで、部活の仲間と一緒に次の大会に向けて努力していきたいです。

2年 M. I.

1・1:活躍したスポーツ選手（大谷翔平）

- ・2:中央中の活躍
- ・3:クリスマス、お正月の意味

2・1:私も、テレビでニュースを観ていると、必ず1回は大谷選手について流れてきます。まだ幼いころからの将来への考えが今実現され、今までの努力が身になったという事実は嘘ではないので、自分も今、様々な物事に対して全力で頑張っています。大谷選手のように今のうちからの努力は、将来、自分の役に立つとわかりました。

2:私も、部活で学総・新人戦にかけて自分の持っている種目で入賞を何度かしてきました。しかし、県大会目標に頑張っているが、なかなか自分の納得のいくような結果にならず、悔しい思いを何度もしてきました。だが、日々の練習がこれからの結果につながるとわかり、今は12月の冬休み前で部活では冬季練習が始まっているので、このチャンスを逃さないよう頑張りたいです。

3:今まで何とも思っていなかったこれらの行事が、家族との大切な時間を過ごすものと知り、これからの行事一つ一つに対し、自分だけではなく視野を広げ、家族、友達との時間を大切にしていきたいです。

2年 A. I.

1・今年活躍したスポーツ選手について

- ・成功するには努力し続けること
- ・大谷選手にはなれなくても、目標を立てて努力することはできる

2・大谷選手のような人は天才ということではなく、最終的にになりたい姿の目標を立て、そこから達成するために何をするのかを考え、考えたことを16歳から今も続けているからこそ成功だということに気づくことができました。私は、大谷選手のように世界中から応援されるようなすごい人にはなることができなくても、そのような人になろうと努力することは続けていくことができると思うので、目標に向かって努力をやり続けることを大切に、受験勉強などをしていきたいです、

2年 Y. S.

1・大谷翔平から学ぶ「続ける」ことの大切さ

- ・中央中の人たちの2学期の「考動」について
- ・冬休みの過ごし方

2・今日話を聞いて、自分で考えて動く「考動」と、それを「続ける」ことの大切さがわかりました。僕は、吹奏楽部に所属していて、自分で家で体力づくりをしているのですが、振り返ってみるとただ走ったり、部

活で言われたことをやったりしているだけでした。大谷翔平のチャートのことや、生き方を聞いて、自分もできることとできないことを分析したり、考えて動いてみようと思いました。

3年 A.O.

- 1・マンダラチャートを書いた人…大谷さん 16歳の時に書いた→現在も続けている
 - ・「勝利への執念」満足だけしない 続けられることが才能
 - ・中央中 大きな成果も遂げた学期 行動する→目標を立て続ける
- 2・大谷選手が学生時代に、人生を通した目標を立て、現在の成功につなげたことは有名な話である。どんな有名人でも、あるとき急に名が世に知られることはなく、それまでの道のりで努力し続けたから成功したのだと思う。私は将来、芸能や音楽の道に進もうと考えている。大きな成功を収められるかどうかは、今からの努力にかかっている。まずは今、自分が何をすべきか、入試に向けた計画を立てながらしっかり自覚していきたい。

3年 M.I.

- 1・大谷選手は、自分で決めた目標を今でも取り組み続けている 今の自分につながっている
 - ・何かを突き進めること、継続すること→才能
 - ・自分自身と向き合って、自分で考えたことを実行する 「行動」する学期
- 2・自分で決めた目標に向かって努力し続けられる人はかっこいいなと思いました。何か一つのことを突き進めていくことは大変だし、簡単なことではないかもしれませんが。しかし、そこで「頑張った」という過程がより良い結果をつくり、今の自分につながっていくのだと思います。私はこの2学期、困っている人がいたら自分にできることをするように心がけていました。以前の私よりも、行動力がついてきたと感じます。これからも続けていきたいです。

3年 Y.E.

- 1・自らの目標や、やりたいことをとことん最後までやり通す
 - ・2学期は「行動する学期」→どのような行動ができたか振り返る
 - ・今年1年を無事に過ごせたことに感謝する
- 2・校長先生の「この2学期、どのような行動ができたか」という問いから、2学期の自分の行動について振り返ることができた。私は、合唱祭実行委員を務めていた。皆の前に立って何かをするのは初めてのことで、不安もたくさんあった。けれど、実行委員の仕事を始めると、クラスメイトや先生方など、自分を支えてくれる人が多くいることに気が付いた。3学期には、自分の進路を決める入試がある。勉強にさらに力を入れていくのはもちろんのこと、両親をはじめとした自分を支えてくれている人に感謝を伝えたい。

3年 R.M.

- 1・大谷選手が書いたチャート（目標を13年間続けた）
 - ・2学期の活躍
 - ・自分自身と向き合う 決めたことを続けていく
- 2・大谷選手は、15歳に決めた目標を13年間、今でも行動に移していて、揺るがない決断、目標がずっと続いているところが素晴らしいと考えました。また、わたしは2学期に特に頑張ったことがなく、目標ももっていなかったと思い、受験生なのにあまり熱心に取り組めず、後悔しています。なので、3学期は志望校合格、1日5時間は自主勉強をするという目標で頑張りたいです。また、校長先生の「自分自身」と向き合うということは、あきらめずにどんなに苦しくてもやりきる、ということだと思います。また、目標をすぐに

変えずに、自分で決めたことを続けていきたいと思いました。3学期には卒業式もあり3年間の集大成なので、きちんとやりたいと思いました。

3年 R.H.

- 1・大谷翔平選手について 書いたことを実行し続けている。突き詰めてる
 - ・自分自身と向き合い、何をしたいか考えて、続けていくことはできる
 - ・2学期の成長を振り返る
- 2・私は校長先生の話聞いて、自分の長所も短所も認めて、自分自身の理解を深めることが大切だと思った。私は野球観戦が好きで、これまで沢山大谷選手の偉大さは感じていたが、夢を持つだけでなく、実行するために努力し続ける凄さを再認識した。自分が何をしたいのか、そのためにはどんな力をつけて、どんなことをしなければいけないのか、計画を立てることが大人になっても大切だと感じた。

3年 R.O.

- 1・具体的な目標
 - ・成功は継続の先にある
 - ・一年を振り返る
- 2・自分には、国際的な環境問題の解決に取り組み、後世に残り続ける技術を開発するエンジニアになるという夢があるが、これをもっと、細かい目標を設定していきたいと思った。また最近僕は、James Clear の” Atomic Habits” という本を読んでいて、継続の重要性を知った。だから何かを習慣化し、毎日継続していきたいと思った。

-
- ・多くの成果を得た2023年の終わりを迎え、「時の人」である大谷翔平選手を取り上げたお話をしました。大谷選手が学生時代に書いた「マンダラチャート」は道徳の教科書でも取り上げられるなど有名ですが、そこに書かれた内容をスターとなった今も実行し続けている、その「継続の力」についてが話の核でした。
 - ・同じ話を同じときに聞いていても、受け取り方や印象に残った内容は皆異なります。教育の面白さ、また、難しさを感じるところでもあります。
 - ・この取組には「正解」はありません。話の要点を捉え、聞いた話について自分の考えを含めて短い時間で書くことを求めるものです。

：越谷市立中央中学校 校長 石山 秀樹